

「先人に学ぶ誠実経営の生き方」商業界 2010年10月号を読む

先人に学ぶ誠実経営の生き方

1. 近江商人「商売の十教訓」

- 一、商売は世の為、人の為の奉仕にして、利益はその当然の報酬なり
- 一、店の大小よりも場所の良否、場所の良否よりも品の如何
- 一、売る前のお世辞より売った後の奉仕、これこそ永遠の客をつくる
- 一、資金の少なきを憂うるなかれ。信用の足らざるを憂うべし
- 一、無理に売るな、客の好むものも売るな、客の為になるもの売れ
- 一、良き品を売ることは善なり、良き品を広告して多く売るとはさらに善なり
- 一、紙一枚でも景品はお客を喜ばせるものだ。つけてあげられるものない時は、笑顔を景品にせよ
- 一、正札を守れ。値引きは却って気持ちを悪くするくらいが落ちだ
- 一、常に考えよ、今日の損益を。今日の損益を明らかにしないでは寝につかぬ習慣にせよ
- 一、商売には好況、不況はない。いずれにしても儲けねばならぬ

(近江商人 / 主に鎌倉～昭和にかけて活動した近江国・滋賀県出身の商人)

2. まず自分をこの世に必要な人間とせよ。そうしたらパンは自然と得られる

(エマーソン / 1800年代の米国の思想家、詩人)

3. 二重の利を取り、甘き毒を喰ひ、自死するやうなこと多かるべし

(石田梅岩 / 江戸中期の思想家、日本経営学の開祖)

4. 飯田新七の4つの戒め

- その一、確実な品を廉価に販売して自他の利益を図るべし
- その二、正札掛値なし
- その三、商品の良否は明らかにこれを顧客に告げ、一点の虚偽あるべからず
- その四、顧客の待遇はすべて平等にして、いやしくも貧富貴賤によりて差をつけるべからず

(飯田新七 / 1831年、京都烏丸松原に高島屋を開設した創業者)

5. 他の富めるをうらやまず、身の貧しきを嘆かず、ただ慎むは貧欲、恐るべきは奢り

(小林一茶 / 江戸後期の俳人、江戸時代を代表する俳諧師)

6 . 渡辺華山の「商人八訓」

- 一、先ず朝は、召使いより早く起きよ
- 二、十両の客より百文の客を大切にせよ
- 三、買い手が気に入らず、返しに来たならば、売る時より丁寧にせよ
- 四、繁盛するに従って、益々儉約せよ
- 五、小遣いは一文より記せ
- 六、開店のときを忘れるな
- 七、同商売が近所にできたら懇意を厚くして互いに勤めよ
- 八、出店を開いたら、三カ年は食料を送れ

(渡辺華山 / 江戸後期の蘭学者、画家)

7 . 実の商人は、先も立ち、我も立つことを思うなり

(石田梅岩)

8 . 大事を成そうと思うなら、小事を怠るな。

小事が積もって大となるのだ。
大事を望んで小事を怠り、
できそうにない難しいことを望んで
やればできるやさしいことを
おろそかにするから
結局大事を成し遂げることができないのだ。

(二宮尊徳 / 江戸後期の農政家・思想家、通称金次郎)

9 . 万像具徳

どんなものにも よさがある
どんなひとにも よさがある
よさがそれぞれ みなちがう
よさがいっぱい かくれてる
どこかとりえが あるものだ
もののとりえを ひきだそう
ひとのとりえを そだてよう
じぶんのとりえを ささげよう
とりえととりえが むすばれて
このよはたのしい ふえせかい

* 「万像具徳」とはすべてのものに徳があること。「ふえせかい」とは増え世界(限りあるものから限りないものが生み出される)のこと

(二宮尊徳)

10. 成功の鍵は、店に出入りして働く人たちの言うことに耳を傾けることにある
(サム・ウォルトン / 世界最大の小売業ウォルマートの創業者)
11. 現代の企業経営者は社会全体に対して奉仕することを義務づけられている
(田代茂樹 / 東レ社長・会長歴任)
12. 他人の繁栄をはからなければ自らも栄えない
(吉田忠雄 / YKK 創業者)
13. 店は客のためにあり店員とともに栄える
(倉本長治 / 近代商業の精神的、理論的指導者。商業界前主幹)
14. ^{いっとうしょうくう}一燈照隅
* 一つの明かりで隅を照らす。転じて、小さな店でも社会を明るくすることができる。
(最澄 / 平安初期の僧、日本天台宗の開祖)
15. 体(たい)は私なり、心は公なり。
私を役(えき)して
公に殉(したが)ふ者を
大人(たいじん)と為(な)し、
公を役して私に殉ふ者を
小人(しょうじん)と為す
(吉田松陰「七生説」より、幕末の思想家、松下村塾の塾長)
16. 商人である前に立派な人間でなければならない
(大高善雄 / ヨークベニマル創業者)
17. 企業の社会的責任には三つの内容が含まれている。
まず、何よりもそれぞれの企業がもつ本来の使命、
つまり本業に徹すること。これが一番だ。
その上で経営者や従業員は他に迷惑をかけるあやまちや失敗を犯さない。
この心掛けがなくてはいけない。そして最後に適当な利益をあげること。
企業の社会的責任はこの三点につきる。
(松下幸之助 / 松下電器産業創業者)
18. 心を開いて「イエス」と言ってごらん。すべてを肯定してみると答が見つかるもんだよ
(ジョン・レノン / 音楽家、初期ビートルズのリーダー的存在)

19. 僕はどうしてもよいことは流行に従い、重大なことは道徳に従い、芸術のことは自分に従う。
(小津安二郎 / 映画監督。死後、国際的に評価が高まる)

20. これからは誰もが自らをマネジメントしなければならない。
自らをもっとも貢献できる場所に置き、成長していかなばならない。
(P・F・ドラッカー / 米国の経営学者、社会学者。マネジメントの父)

21. 一人一人のお客があなたの商人としての立派さにほれぼれとして見とれるそういう商売をしてこそこの道にあなたが生涯をかけた甲斐がある
(岡田 徹)

22. 儲けとは信者をつくることだ
(新保民八)

23. およそ事業をするには、まず人に与えることが必要である。それは、必ず後に大きな利益をもたらすからである。
(岩崎弥太郎 / 三菱財閥の創業者で初代総帥)

24. 銀行から頼まれて、倒産した施設をずいぶん買って来たが、いまだかつて倒産した企業で、きれいに整然と掃除が行き届いていた会社はない。
(鍵山秀三郎 / ローヤル<現イエローハット>創業者)

25. 政治家はもちろん、経営者も良識と品格を持ったそれこそ上質、上等な人たちでなければならない。
(稲盛和夫 / 京セラ、第二電電<現 KDDI>創業者)

26. 私たちは空腹を満たす仕事をしているのではない。魂を満たす仕事をしているのだ。
(ハワード・シュルツ / スターバックスコーポレーションの最高経営責任者)

27. 高らかに誇らん
考えてご覧ください
心から一人の人を喜ばせることが
どんなにムズカシイことか
ところが私は 一人一人のお客さまに
その喜びの商いを 毎日繰り返している
何という幸福 何という栄光
ああ 商人とは こんなにうれしいもの

(倉本長治)

28. 商業界「商売十訓」

- 一、損得より先に善悪を考えよう
- 二、創意を尊びつつ良い事は真似ろ
- 三、お客に有利な商いを毎日続けよ
- 四、愛と真実で適正利潤を確保せよ
- 五、欠損は社会の為にも不善と悟れ
- 六、お互いに知恵と力を合せて働け
- 七、店の発展を社会の幸福と信ぜよ
- 八、公正で公平な社会的活動を行え
- 九、文化のために経営を合理化せよ
- 十、正しく生きる商人に誇りを持て

(倉本長治)

29. 社会のため、人のために偉大な貢献をしていてこそ、企業は永遠に残る総合芸術たりうる

(松下幸之助)

30. 商売繁盛の秘訣はただ一つ、お客様にご満足をいただくことに尽きる

(青井忠治 / 丸井創業者)

31. お客様は神様です、という言葉があるが、消費者は神様以上のきびしさをお持ちである

(安藤百福 / 日清食品創業者)

32. 事業家に一番大切なものは愚直なまでの誠意である

(村田 昭 / 村田製作所創業者)

33. 心のままに行け最後はきつとうまくいく

(ボブ・ディラン / 米国のシンガーソングライター。多くの音楽家に影響を与えた)

34. 真面目とは実行することだ。

(夏目漱石 / 小説家、評論家、英文学者。明治・大正時代の文豪)

35. 自分の価値観に反するところに身を置くなれば、人は自らを疑い、自らを軽く見るようになる。

(P・F・ドラッカー)

36. 肩書きで生活しない

(鳥居龍蔵 / 考古学者、人類学者、民俗学者)

37. 信用は実に資本であって商売繁盛の根底である。
わずかも道徳と経済と相離るべからざるもの。
(渋沢栄一 / 明治 ~ 大正初期の大蔵官僚。実業家。日本資本主義の父)
38. 愛の反対は、憎しみではなく無関心です
(マザー・テレサ / ノーベル平和賞を受賞した福者<聖人の前段階>)
39. 正しきによりて滅びる店あらば滅びてもよし断じて滅びず
(新保民八 / 倉本長治の盟友、花王石鹸元常務、商業界元副社長)
40. 正直とか、親切とか、友情とか、そんなふつうの道徳を堅固に守る人こそ、真に偉大な人間というべきである。
(アナトール・フランス / フランスを代表する作家、非評家)
41. 人の生命を愛せないものに自分の生命を愛せるわけではない。私という人間以外のすべての人が自分の先生である。
(吉川英治 / 小説家。代表作は『宮本武蔵』など)
42. 信頼とは、一日一日のその人の履歴、人となりだと思ふ。
(本田宗一郎 / 本田技研工業の創業者)
43. 人生は、他人を負かそうなんてケチくさい卑小なものじゃない
(岡本太郎 / 芸術家。ピカソに強い衝撃を受け抽象芸術に道を求める)
44. あなたの顔を見てください
(佐久間象山 / 幕末の思想家、哲学者、蘭学者。門弟に吉田松陰、勝海舟ら)
45. 人間にとって最も大切な努力は自分の行動の中に道徳を追求していくことです。
(アイン・シュタイン / ドイツ出身の理論物理学者)
46. 小さな店であることを恥じることはないよ、その小さな、あなたのお店に、人の心の美しさを一杯に満たそうよ
(岡田 徹 / 戦前から戦後にかけて活躍した商業経営指導者。商業界社友)

P36 ~ 39

[コメント]

誠実経営とは何か。月刊商業界 2010 年 10 月号でまとめた 46 のことばは心にしみる。ゆっくりと味わい、身につけたいものばかりだ。

- 2010 年 8 月 30 日 林 明夫記 -